

TEAC

TEAC

AR-132

DR 方式記録再生増幅器

取扱説明書

REV
ECN
No.

承認
検図
担当

ティアック株式会社

図面番号

A

10010300 00

新入図

57.12.22

TEAC
原図室

目 次

1. 概 要	-----	1
2. 構 成	-----	1
3. 定格・性能	-----	1
4. 取扱方法	-----	3
5. 注意事項	-----	4

REV.
ECN.
No.

承認

検図

担当

ティアック株式会社

図面番号

A

ii 頁

葉中

10010300-00

新入図

57.12.22

TEAC
原図室

1. 概 要

AR-132 は、当社製データレコーダ MR-10、MR-30 に実装するための直接記録再生方式 (DIRECT RECORDING 以下 DR 方式という) の増幅器ユニットで、高周波信号の記録に適しています。

2. 構 成

AR-132 は、標準実装の FM 方式記録再生増幅器とユニット交換して使用します。

DR 方式記録再生増幅器 品番 19190480

3. 定格・性能

記録再生方式

DR 方式記録再生

使用テープ

CT-90 TYPE II 型計測用カセットテープ

入力インピーダンス

10 K Ω \pm 15% (不平衡)

規定入力電圧

6 段切換スイッチによる ATT 方式

ポジション

規定入力電圧

0.2

0.4 Vp-p

0.5

1 Vp-p

1

2 Vp-p

2

4 Vp-p

5

10 Vp-p

10

20 Vp-p

REV.

E.C.N.

No.

承認

検図

担当

原図室

10010300-00

ティアック株式会社

図面番号

A

1 頁

葉中

新入図

57.12.22

TEAC

原図室

規定出力電圧

規定入力電圧に対して最大 4 V_{p-p}

出力電圧調整ボリュームにより微調整可能

(但し負荷インピーダンス 100 k Ω)

出力インピーダンス

75 Ω

周波数特性・SN 比 (CT-90 TYPE II 型計測用カセットテープにて測定)

テープ速度 (cm/s)	周波数特性 (± 3 dB)	SN 比 dB (rms)
38.1 *	400 Hz \sim 72 KHz	28
19.05	200 Hz \sim 36 KHz	28
9.52	200 Hz \sim 18 KHz	28
4.76	200 Hz \sim 9 KHz	28
2.38	200 Hz \sim 4.5 KHz	28
1.19	200 Hz \sim 2.25 KHz	26

* 再生のみ

第 3 次高周波歪

3 % (19.05 cm/s 基準周波数 3 KHz)

REV.
E.C.N.
No.

承認

検図

担当

ティアック株式会社

図面番号

A

2 頁

葉中

10010300-00

新入図

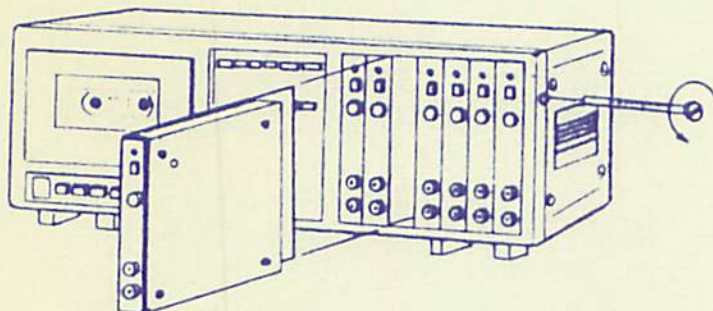
57.12.22

TEAC
原図室

4. 取扱方法

4-1 AR-132 DR 記録再生増幅器の交換

DR 方式で MR-10/30 を使用する場合、必ず電源を " OFF " にして使用するチャネルの FM 記録再生増幅器を図-1 のようにはずし、AR-132 を実装します。

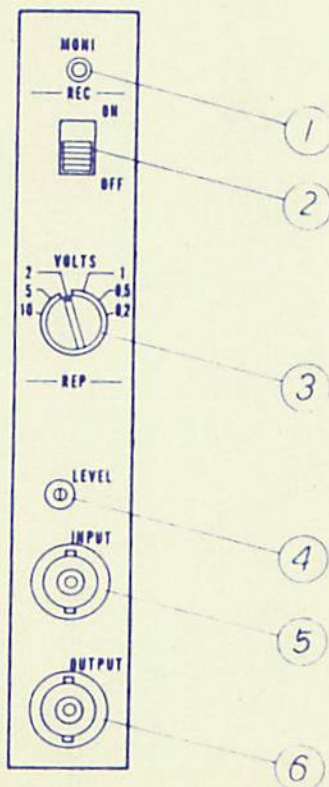


正面の右側のネジを取り除き、
FM AMP UNIT を前に引き出す。

図-1

尚、MR-10 の 3 CH、MR-30 の 4 CH に DR 記録再生増幅器を実装した場合、NOISE COMP 機能が正常に働かなくなりますのでお避け下さい。

4-2 各部名称



REV
ECN
No.

新入図

57.12.22

TEAC
原図室

承認
検図
担当

ティアック株式会社

図面番号

A

3 頁

製

10010300 00

9090261

理
理
理

名 称	形 式	機 能
① MONI (チャンネル表示)	LED	モニタ(レベルメータ、モニタ出力端子)中のチャンネルを表示します。 選択されるとこの LED が点灯します。
② - REC - ON/OFF	スライド スイッチ	入力信号、校正信号を磁気テープに記録する場合には ON、記録しない場合には OFF を選択します。
③ - REC - VOLTS	ロータリ スイッチ	入力信号レベル調整用のアッテネータです。 0.2、0.5、1、2、5、10 V のステップで入力信号を調整します。
④ - REP - LEVEL	ポテンション メータ	出力信号のレベルを調整します。 右方向に回すと出力レベルは大きくなります。
⑤ INPUT	BNC コネクタ	データレコーダに外部信号を入力するためのコネクタです。
⑥ OUTPUT	BNC コネクタ	データレコーダの再生信号を外部計測器へ出力するためのコネクタです。

4-3 動作・確認

AR-132 DR 方式記録再生増幅器は、完全調整済みですので差換え後すぐに使用可能です。

記録・再生の手順は、本体付属の MR-10/30 カセットデータレコーダ取扱説明書を参照して下さい。

5. 注意事項

- AR-132 DR 方式記録再生増幅器に、過大な衝撃を与えないで下さい。また、使用しない時は、付属のダンボールケースに指定の導電袋に入れて保存して下さい。(差換えた FM 記録再生増幅器も同様の取扱いを行って下さい。)
- DC の校正記号は、記録方式により使用できません。
- ⑥ OUTPUT からは電流出力は取れません。

REV.
E.C.N.
No.承認
検図
担当. .
. .
. .

ティアック株式会社

図面番号

A

4 頁

葉中

新入図

57.12.22

TEAC

原図室

10010300-00

- 38.1 cm/sec は再生のみで記録できませんので御注意下さい。なお 3. 定格性能、中の周波数特性は、19.05 cm/s で記録、38.1 cm/s で再生した時の範囲を示してあります。
- DR 方式は、FM 方式と異なり、スピード変換をずると周波数特性の下限も変化します。
- 例えば、1.19 cm/s で記録した 200 Hz ~ 2.25 KHz の信号を 38.1 cm/s で再生すると 32 倍変化し 6.4 KHz ~ 72 KHz の周波数帯域となります。

REV.
ECN.
No.

承認

検図

担当

ティアック株式会社

図面番号

A

5 頁

葉中

新入図

57.12.22

TEAC
原図室

10010300-00